



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場会社名 東武鉄道株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9001 URL <http://www.tobu.co.jp/>  
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 根津 嘉澄  
 問合せ先責任者(役職名) 財務部主計担当課長 (氏名) 木山 一郎 (TEL) 03-5962-2183  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 平成25年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 ( 機関投資家・アナリスト向け )  
 (百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	280,045	△0.6	27,064	14.0	25,237	21.4	15,760	36.2
25年3月期第2四半期	281,859	7.0	23,748	73.2	20,791	69.4	11,569	74.7

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 21,864百万円( 82.9%) 25年3月期第2四半期 11,950百万円( 136.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	14.75	14.71
25年3月期第2四半期	10.83	10.79

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,484,833	346,072	22.1
25年3月期	1,463,370	327,739	21.2

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 328,516百万円 25年3月期 310,876百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
26年3月期	—	3.00			
26年3月期(予想)			—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※上記の配当金の内訳は、第2四半期末および期末それぞれ普通配当2円50銭、記念配当0円50銭であります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	586,000	1.5	53,500	1.8	49,500	4.1	29,500	3.0	27.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期2Q	1,075,540,607株	25年3月期	1,075,540,607株
26年3月期2Q	7,149,407株	25年3月期	6,988,958株
26年3月期2Q	1,068,485,025株	25年3月期2Q	1,068,729,769株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続が実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
4. 補足情報	9
(1) セグメント別概況	9
(2) 鉄道事業旅客収入及び旅客人員表(個別)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益の改善をはじめ、設備投資や個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような情勢下にあります。当社グループでは、安全はすべての事業の根幹であるとの認識のもと、「東武グループ中期経営計画2010～2013」にもとづき、将来にわたる持続的成長を目指し各種施策を実施いたしました。

当第2四半期連結累計期間の連結業績は、営業収益は280,045百万円（前年同期比0.6%減）、営業利益は27,064百万円（前年同期比14.0%増）、経常利益は25,237百万円（前年同期比21.4%増）、四半期純利益は15,760百万円（前年同期比36.2%増）となりました。

セグメント情報の業績を示すと、次のとおりであります。

## (運輸事業)

鉄道業におきまして、当社では安全を最優先に、より多くのお客様にご利用いただけるよう、様々な取り組みを進めております。

安全輸送面では、船橋駅のホームドア（可動式ホーム柵）設置工事に着手したほか、伊勢崎駅付近・野田市駅付近・竹ノ塚駅付近の高架化工事や「東上線新運転保安システム」の構築等を推進しております。また、従業員に対しても、安全に関する様々な教育を継続して実施しております。さらに、大規模地震等に備え、防災対策工事を進めたほか避難誘導訓練や列車の一旦停止訓練等の防災訓練を実施いたしました。

営業面では、東上線と東急東横線・横浜高速みなとみらい線との相互直通運転を活用し、企画乗車券の販売や沿線観光地の積極的な宣伝活動を実施したほか、沿線の大学と連携した両毛地区のPR活動を実施するなど、誘客を促進いたしました。さらに、東京スカイツリータウン®と連携した企画乗車券を販売するなど増収に努めました。

バス・タクシー業におきましては、東京駅等と東京スカイツリータウンとを結ぶスカイツリーシャトル®4路線のダイヤ改正を実施したほか、高速バスにおいてお客様のニーズに対応した運行路線の見直しを実施いたしました。

運輸事業全体としては、営業収益は106,021百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益は15,885百万円（前年同期比0.1%増）となりました。

## (レジャー事業)

スカイツリー業におきましては、訪日観光客の誘致活動を積極的に展開するとともに、開業1周年記念イベントや季節に応じたイベントに加え、2020年東京オリンピック開催決定の際等、多彩な特別ライティングを実施し、多くのお客様にご来場いただけるよう努めました。また、5月には在京テレビ局6社による本放送が開始され、社会インフラとしての電波塔機能を本格的に発揮することとなりました。

ホテル業におきまして、「コートヤード・マリオット銀座東武ホテル」では、東京スカイツリー®のオフィシャルホテルとしての営業施策を引き続き実施したほか、レストランのリニューアル効果等により好調に推移いたしました。

旅行業におきましては、東京スカイツリータウンや日光・鬼怒川等沿線の観光地へより多くのお客様にお越しいただけるよう、日本全国および海外のネットワークを有する旅行会社のトップツアー(株)を当社の子会社といたしました。

遊園地・観光業におきまして、「東武動物公園」では、ホワイトタイガーの赤ちゃんを一般公開したほか、多くのイベントを開催し増収に努めました。また、「東武ワールドスクウェア」では、展示物のリニューアルや各種イベントを開催し誘客に努めました。

レジャー事業全体としては、営業収益は34,105百万円（前年同期比5.8%減）、営業利益は6,084百万円（前年同期比64.3%増）となりました。

## (不動産事業)

スカイツリータウン業におきましては、「東京ソラマチ®」において、様々なイベントを実施し、誘客および収益確保をはかりました。また、「東京スカイツリーイーストタワー®」において、オフィス成約率100%を達成いたしました。

不動産賃貸業におきましては、保有資産を有効活用し、安定的な収益確保および沿線価値の向上をはかるため、松原団地駅構内の駅ナカ店舗をリニューアルし、「エキア松原」をオープンさせたほか、「エキア川越」等のテナント入替を実施いたしました。

不動産分譲業におきましては、沿線の価値向上および沿線定住人口増加を目的として、新規マンション「ブリリアときわ台ソライエレジデンス」（板橋区前野町）の販売を開始いたしました。

不動産事業全体としては、マンション販売戸数が減少したこと等により、営業収益は25,528百万円（前年同期比9.7%減）、営業利益は2,451百万円（前年同期比15.3%減）となりました。

## (流通事業)

流通業におきまして、(株)東武百貨店では、宝飾品など高額品の販売が順調に推移したほか、「東武ワールドウォッチフェア」や「初夏の大北海道展」などの催事を開催し誘客に努めました。また、(株)東武宇都宮百貨店では、より多くのお客様にご来店いただけるよう「おいしい・おしゃれ」をコンセプトに、宇都宮店8階レストラン街「スパイス」のリニューアルを実施いたしました。

流通事業全体としては、営業収益は101,231百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は681百万円（前年同期比549.6%増）となりました。

## (その他事業)

(株)東武エネルギーマネジメントでは、佐野市（葛生駅南側土地）において、鉄道貨物ヤードの跡地を活用した大規模太陽光発電（メガソーラー）事業を7月より開始いたしました。

また、建設業におきまして、東武建設(株)では、宇都宮市においてマンション建設工事を、東武谷内田建設

(株)では、豊島区において地下道路の建設工事を受注いたしました。

その他事業全体としては、営業収益は42,034百万円（前年同期比8.0%増）、営業利益は2,091百万円（前年同期比64.6%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、減価償却の進行による有形固定資産の減少があったものの、投資有価証券の時価が回復したこと等により1,484,833百万円となり、前連結会計年度末と比べ21,463百万円（前期比1.5%増）の増加となりました。

負債は、有利子負債が減少したものの買掛金が増加したこと等により1,138,760百万円となり、前連結会計年度末と比べ3,129百万円（前期比0.3%増）の増加となりました。

純資産は、四半期純利益の計上やその他有価証券評価差額金が増加したこと等により346,072百万円となり、前連結会計年度末と比べ18,333百万円（前期比5.6%増）の増加となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、(株)ティラミスホールディングス（トップツアー(株)の持株会社）株式取得の影響等を精査した結果、営業収益586,000百万円、営業利益53,500百万円、経常利益49,500百万円、当期純利益29,500百万円にそれぞれ修正いたしました。

なお、セグメント別の概況につきましては、P.9「4. 補足情報 (1) セグメント別概況」に記載のとおりであります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,499	31,916
受取手形及び売掛金	42,807	47,666
分譲土地建物	39,052	37,608
その他	35,610	34,575
貸倒引当金	△677	△683
流動資産合計	140,291	151,081
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	568,567	558,663
土地	501,479	504,407
その他(純額)	117,946	117,071
有形固定資産合計	1,187,993	1,180,142
無形固定資産		
	20,239	31,198
投資その他の資産		
投資有価証券	70,595	79,591
その他	47,235	45,329
貸倒引当金	△2,985	△2,509
投資その他の資産合計	114,845	122,411
固定資産合計	1,323,078	1,333,752
資産合計	1,463,370	1,484,833

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,275	35,476
短期借入金	44,172	73,967
1年内返済予定の長期借入金	118,881	126,752
1年内償還予定の社債	19,700	29,800
引当金	5,347	8,363
その他	141,494	132,879
流動負債合計	357,871	407,239
固定負債		
社債	119,870	109,870
長期借入金	453,225	414,770
退職給付引当金	40,795	44,934
その他の引当金	1,243	1,084
その他	155,391	155,435
固定負債合計	770,525	726,095
特別法上の準備金		
特定都市鉄道整備準備金	7,234	5,425
特別法上の準備金合計	7,234	5,425
負債合計	1,135,630	1,138,760
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	102,135	102,135
資本剰余金	70,398	70,398
利益剰余金	90,050	102,600
自己株式	△3,435	△3,520
株主資本合計	259,149	271,614
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,957	18,154
土地再評価差額金	38,769	38,747
その他の包括利益累計額合計	51,727	56,902
少数株主持分	16,862	17,556
純資産合計	327,739	346,072
負債純資産合計	1,463,370	1,484,833

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業収益	281,859	280,045
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	198,214	193,940
販売費及び一般管理費	59,897	59,041
営業費合計	258,111	252,981
営業利益	23,748	27,064
営業外収益		
受取配当金	2,898	2,998
保険配当金	445	448
その他	971	942
営業外収益合計	4,315	4,389
営業外費用		
支払利息	6,005	5,400
その他	1,266	815
営業外費用合計	7,272	6,215
経常利益	20,791	25,237
特別利益		
特定都市鉄道整備準備金取崩額	1,808	1,808
その他	2,400	778
特別利益合計	4,209	2,587
特別損失		
固定資産除却損	1,862	254
固定資産圧縮損	1,636	203
減損損失	105	338
その他	522	202
特別損失合計	4,127	999
税金等調整前四半期純利益	20,873	26,825
法人税、住民税及び事業税	10,545	11,746
法人税等調整額	△2,113	△1,584
法人税等合計	8,432	10,162
少数株主損益調整前四半期純利益	12,441	16,663
少数株主利益	871	903
四半期純利益	11,569	15,760



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	12,441	16,663
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△483	5,195
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	4
その他の包括利益合計	△490	5,200
四半期包括利益	11,950	21,864
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,079	20,957
少数株主に係る四半期包括利益	871	906

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	運輸事業	レジャー 事業	不動産事業	流通事業	その他事業	計		
営業収益								
(1) 外部顧客への 営業収益	103,663	35,289	19,215	98,075	25,615	281,859	—	281,859
(2) セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	1,513	927	9,061	1,307	13,302	26,112	△26,112	—
計	105,177	36,216	28,277	99,382	38,918	307,972	△26,112	281,859
セグメント利益 又は損失(△)	15,867	3,703	2,895	104	1,270	23,841	△93	23,748

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	運輸事業	レジャー 事業	不動産事業	流通事業	その他事業	計		
営業収益								
(1) 外部顧客への 営業収益	104,477	33,212	16,302	99,961	26,090	280,045	—	280,045
(2) セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	1,544	893	9,225	1,269	15,943	28,877	△28,877	—
計	106,021	34,105	25,528	101,231	42,034	308,922	△28,877	280,045
セグメント利益 又は損失(△)	15,885	6,084	2,451	681	2,091	27,193	△129	27,064

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 4. 補足情報

## (1) セグメント別概況

(連結業績予想)

科 目	前期実績 自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日	通期予想 自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日	比較増減	
			金 額	増減率
営業収益	百万円	百万円	百万円	%
運 輸 事 業	211,346	211,700	353	0.2
レジャー事業	74,294	74,600	305	0.4
不 動 産 事 業	56,217	63,800	7,582	13.5
流 通 事 業	209,437	209,400	△37	△0.0
そ の 他 事 業	87,471	85,100	△2,371	△2.7
計	638,766	644,600	5,833	0.9
調 整 額	△61,543	△58,600	2,943	—
連結財務諸表計上額	577,223	586,000	8,776	1.5
セグメント利益又は損失(△)				
運 輸 事 業	28,975	29,000	24	0.1
レジャー事業	10,593	12,400	1,806	17.1
不 動 産 事 業	8,030	7,700	△330	△4.1
流 通 事 業	1,948	1,400	△548	△28.1
そ の 他 事 業	3,624	3,600	△24	△0.7
計	53,172	54,100	927	1.7
調 整 額	△628	△600	28	—
連結財務諸表計上額	52,544	53,500	955	1.8

(個別業績予想)

科 目	前期実績 自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日	通期予想 自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日	比較増減	
			金 額	増減率
営 業 収 益	百万円	百万円	百万円	%
鉄 道 事 業	157,807	158,200	392	0.2
開 発 事 業	64,040	70,300	6,259	9.8
合 計	221,847	228,500	6,652	3.0
営 業 利 益				
鉄 道 事 業	25,551	25,700	148	0.6
開 発 事 業	7,977	7,800	△177	△2.2
合 計	33,528	33,500	△28	△0.1

## (2) 鉄道事業旅客収入及び旅客人員表 (個別)

(決算)

		前第2四半期 自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	当第2四半期 自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	比較増減率
旅客収入	定期外	38,531百万円	38,854百万円	0.8%
	定期	32,752百万円	32,941百万円	0.6%
	合計	71,283百万円	71,795百万円	0.7%
旅客人員	定期外	154,717千人	155,320千人	0.4%
	定期	291,742千人	294,452千人	0.9%
	合計	446,459千人	449,772千人	0.7%

(業績予想)

		前期実績 自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日	通期予想 自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日	比較増減率
旅客収入	定期外	77,440百万円	77,477百万円	0.0%
	定期	64,362百万円	65,230百万円	1.3%
	合計	141,802百万円	142,707百万円	0.6%
旅客人員	定期外	311,144千人	310,317千人	△0.3%
	定期	567,896千人	577,442千人	1.7%
	合計	879,040千人	887,759千人	1.0%

※定期外旅客収入は、特急料金を含んでおります。

※単位未満端数四捨五入で表示しております。